

企業・NPOとの コラボ授業レポート！

思いやりの気持ちと助け合う心を育てる授業実践

「ユニバーサル・デザイン」だれもが安心して楽しくくらすために！

..... 日立グループ (以下日立) の取組紹介

日立では、社会貢献活動の一環として、社員ボランティアによる小学生向け「ユニバーサル・デザイン」の授業を提供しています。今回、世田谷区立城山小学校と日立の間を学校支援コーディネーターがつなぎ、6年生の2学級で授業が実施されました。

ユニバーサル・デザインとは？
年齢、性別、身体、国籍など、人々がもつ様々な特性や違いを越え、はじめからできるだけすべての人が利用・使用しやすい環境、建物・施設、製品、サービス等のデザインをしていく考え方。

この授業のここがポイント！

グループワークを中心とした実践力をはぐくむ授業

- 全ての人に使いやすいテレビのリモコンのアイデアをグループごとに考えて発表したり、視覚障がい者の方の話を実際に聞いたりする体験を通して実践力を培います。この授業では毎回ゲストとして地域に住んでいる障がいのある方にお話を聞いています。授業後に校外でゲストの方と出会ったときに、あいさつなど触れ合う機会を大切にするためです。子どもたちの中には、「今度スーパーとかで会ったら、お手伝いをしてあげる。」と感想を書いてくれた子もいます。まさに実践力をはぐくむ工夫ですね。



視点をかえ、より大きな視野で心を育てる授業

- ユニバーサル・デザインという題材を通して、それを創り出している人の視点から、思いやりの気持ちや助け合う心をはぐくんでいく授業です。実際に日立で様々な仕事をしている社員による授業を受け、直接話を聞いたり話し合ったりして学びを深めることで、子どもたちの視野がより広がります。企業と連携して行うよさが十分に出ています。

スタッフ全員が社員のボランティア！

- 授業を行っている方々は、全員が自分から進んで参加しているボランティアです。授業の日是有給休暇を使って参加しています。ボランティアをするにあたっての研修会や、事前の



打合せも実施しています。さらに、授業後に子どもたちが書いた感想は、一人一人がしっかりと受け止め、丁寧にコメントを書いて送り返してあげるので。

授業後、スタッフの方にお話を伺いました。

株式会社 日立製作所 コーポレート・コミュニケーション本部 社会貢献部
主任 玉木英美さんのお話



2000年に社会貢献部ができて以来、私たちは、社員のボランティア活動の活性化や社会への関心を高めるため、環境や教育、福祉をテーマとした社内セミナーを開催してきました。その中で、今の子どもたちにできることを考えたときに、私たちがもっているノウハウを教育の現場に還元し、日立らしさを出すという視点から、この「ユニバーサル・デザイン」の授業のアイデアが生まれてきました。

今後は、環境など、他のテーマに置き換えて、授業を開発していく予定です。そのためにも、学校が何を求めているのか知るために、先生方に集まっただきヒアリングを行ったりすることができればと思っています。

この授業を担当した、社会貢献部

佐々木洋子さんのお話



授業の内容は、デザイン本部と社員ボランティアが共同で開発しました。そして授業のたびにボランティアの皆さんが意見を出し合い、改善を重ねています。ボランティアの人数も最初は数名でしたが、今回の授業には12名が参加しました。ボランティア自身や事務局を務める私たちも常に、「次はもっといい授業を」と考え、授業を通して成長させてもらっています。

今回も、先生からの提案を参考に午前と午後で授業の流れをかえ、よりスムーズに進めることができましたが、さらに現場のニーズを吸収できればと考えています。先生方の声を、どんどん授業に生かしていきたいですね。

終わりに

日立では、今後学校支援コーディネーターとの連携をさらに深めていくとともに、これからも学校の声を集め、より学校のニーズに合ったプログラムを開発していきたいと考えています。皆さんの学校でも、このような連携を進めてみませんか？

連絡先

東京都千代田区丸の内1丁目6番6号

日立製作所 コーポレート・コミュニケーション本部 社会貢献部

電話：03-4564-5040

Mail：shakai.koken.qm@hitachi.com

日立製作所「社会貢献活動 教育分野への支援プログラム

『ユニバーサル・デザイン』のホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/Int/skk/kyoiku/bunya0101.html>